



令和2年3月15日発行 (毎年7月・10月・12月・3月発行)

春

第148号

おちあい

責任者 坂田 英夫 企画・編集 落合第二地域センター管理運営委員会 広報部
〒161-0032 新宿区中落合4丁目17番13号 Tel. 03-3951-9941 Fax. 03-3951-9310



篠笛演奏(荒井ひとみ「北の森の妖精」)による即興舞・横貫多美子さん



東京造形大学学生が染めた浴衣展示(獅子吼会地下ホール)



川のギャラリー

染の小道 2020.2.21~23

◆シリーズ 公園サポーター5

哲学堂公園「広場と緑を守る会」

おちあい地区の西に位置する哲学堂公園は中野区立の公園ですが、妙正寺川近くの一部分が新宿区となっています。

そもそも哲学堂とは、東洋大学の創立者である井上田了氏が私財を投じて造ったもの。遺族から東京都に寄贈され、都立公園として小さいため、一九七五年に中野区に移管されました。四聖堂と呼ばれる哲人を祀る哲学堂の建物や庭園の他、弓道場、テニスコート、野球場があり、樹木に囲まれた緑豊かな公園です。

そんな哲学堂公園の「広場」である「児童遊園」に学習展示施設を作る計画が突如、持ち上がったのは、二〇一七年十月のこと。児童遊園は四分の一に縮小されるという内容でした。

施設が建設されれば、毎朝、百名以上の方々が集まるラジオ体操や、子どもたちが運動前にウォーミングアップを行ったり、小さな子どもたちが自由に走り回ることができなくなります。

また、樹齢百年を超える七本の大きなヒマラヤスギを始め、大切な樹木の伐採が余儀なくされてしまいます。

この計画になんとかストップをかけたいと立ち上がったのが、江古田の佐野道博さん、西落合の羽豆光治さんを中心とする五名の勇士たち。「哲学堂公園「広場と緑を守る会」」を結成したのです。

広場の利用者や近隣住民に声をかけ、四千名の署名を集



広場は広々として多様に利用されている

め、中野区区議四十名一人一人に回って陳情。哲学堂公園の魅力を知ってもらおうと歴史や自然、児童遊園についての視察会も企画。このとき、自然環境について説明してくださった日本自然保護協会・自然観察指導員の中村芳生氏のブログがきっかけとなり、TBS「噂の東京マガジン」の取材も受けました。

「木を切っても、『また新たに植えればいい』なんて言うけれど、木が育つまで百年待たなくてはいけないですよ」とのインタビュー中の羽豆江さんの悲痛な訴えは視聴者の心にも強く響いたと思います。

粘り強い活動を後押しするかのようになり、二〇二〇年、哲学堂公園一帯を、文化庁が国の名勝に指定。これにより大規模な工事は文化庁の許可なく行えなくなりました。

「児童遊園」は今も現状のまま、大勢の方々にご利用されています。

羽豆さんたちの「広場と緑を守る会」の活動を支えたのは、先人が残してくれた大切な緑を守りたい、という熱い思い。素晴らしい環境を後世に残していきたい、次に託せなければ申し訳ない、という強い責任感です。

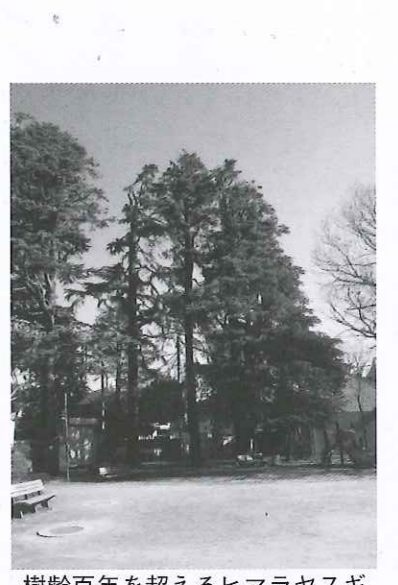
羽豆さんは「すばる山歩会」を主催する



児童公園は憩いの場でもある



自然豊かな遊歩道



樹齢百年を超えるヒマラヤスギ

自然愛好家でもあります。関東平野は広く、山登りに出かけるには距離があります。でも遠くの山まで出かけなくても、身近にこれほど豊かな自然を楽しめる私たちは幸せです。

桜の季節、初夏の新緑の季節、哲学堂から妙正寺川沿いの散策を楽しみながら、自然を守るために闘ってくれた人たちがいたこともぜひ思い出してみてください。

(藤川 裕子)

※「名勝」：芸術的観賞の観点から価値の高い土地について、日本国および地方公共団体が指定を行ったもの。
※哲学堂公園では、自然観察会や星空の観測会、ボランティアによるガイドツアーも行っています。スケジュールをチェックして出かけてみてください。

猫物語

春炬燵カリンと名付け迷い猫飼猫ものらと一緒に日向ぼこ愛猫を抱きて春を待つ身かな

(薫風句会 池永 珠子)



コナツ/カリン

◆妙正寺川で、キンクロハジロ、発見!

写真①は川上に向かい、エサを探す三種のカモ。右手から、一年中この川にすんで夏、子育てするカモ、冬の渡り鳥コガモと三羽のキンクロハジロです。

エサのとりかたは、右の二種はくちばしを流れに突っ込みながら泳ぎ、キンクロハジロは潜水します。この川の鳥に詳しいカメラマンの話では「前シーズンにキンクロハジロのオスを一羽だけ見たよ。それが初めてだ。今季はメスが最大五羽だね」とのこと。

秋までよくみかけるカワウも潜水します。また、冬の渡り鳥オナガガモもきています。川を覗けば、季節によって実に様々な野鳥の姿を見ることができ

るのはこの上ない楽しみ。川底は太古の岩が露出し、でこぼこしていることから、食べ物も豊富なのでは、と推測されます。四村橋下流に奇跡のように残された鳥たちのエサ場です。

(戸津 和子)



①三種のカモたち



②三羽のキンクロハジロ



③キンクロハジロ (メス) 杉並区清水の妙正寺池にて撮影

わくわく 落合

◆新シリーズ 歴史コラム

落合の石仏① 浅間本地「十一面観世音菩薩立像」

前号で紹介した歴史講座で「歴史資料」の大切さを知りました。それはお年寄りから聞いた話、至る所に思いがけず残っている古い家など先祖の足跡、放っておけば、見る間に消えていくモノ。地域センター二階にある「まちの資料コーナー」には落合のモノそのもの、モノを写した写真や映像、聞き書きや座談会の記録などが収集されています。おちあいバックナンバーもその一つ、そしてこれからも落合周辺の地域歴史資料が集まってくることを願っています。

そのきっかけ作りとして歴史コラムを始めます。第一回にとりあげるのは落合の石仏でも一押し、の美しさ、上落合の宝と言えよう、浅間本地十一面観世音菩薩立像です。最勝寺の墓地入り口にある東屋に隣接して立っておられます。「元禄五年(一六九二年)大阪出生の性海、之を建てる」と刻まれています。

左手に蓮華を活けた水瓶、右手にお地藏様のような錫杖を持ち、方形の台座に立つ十一面の観音様で、奈良の長谷寺の様式として知られています。

刻んである「浅間本地」の意味は、浅間の神(火山の神)が観音菩薩と同じという、神仏習合の考え方です。

この像と浅間神社、富士塚が上落合にできたのが、寛政二年(一七九〇年)だという伝承があります。四十年後、しばしば江戸城から江戸の近郊を散歩して紀行文を書いていた村尾嘉稜が絵を添えて記録しました。それによると、今の早稲田通りと山手通りの交差点あたりは、古い字名で「大塚」と呼ばれ、浅間神社の富士塚になっていた、その頂上にこの菩薩像が立っていたというのです。



参考文献：平凡社東洋文庫448 江戸近郊道しるべ 村尾嘉稜著





オリンピック・パラリンピック教育 「フラインドサッカー体験」

いよいよ、東京オリンピック・パラリンピックイヤーとなりました。落三小では、今年度オリンピック・パラリンピック教育の一つとして、十一月に障害者スポーツの「フラインドサッカー」の体験を、四年生の子どもたちが行いました。ここでは、ゲストティーチャーとしてフラインドサッカー選手の方が来校し、道具やルールについて教えてくださいました。

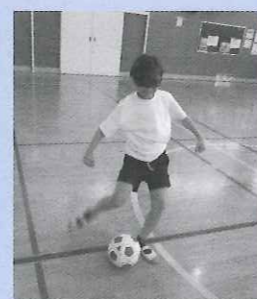
実際にアイマスクをして、準備運動をし、専用のボールを蹴ってみました。子どもたちはフラインドサッカーを楽しみながら、視覚障害のある方でも楽しめるスポーツがあることを知りました。



アイマスク体験



ボールを拾うだけでも大変



ゲストティーチャーによるお手本

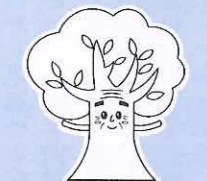


転がると音が出る専用のボール

また、この体験とともに総合的な学習の時間では、パラリンピックの歴史や競技・種目などについて児童が興味・関心をもったことを、新宿区教育委員会の障害者理解教育推進教材や本、インターネットなどを活用して調べる学習も行いました。子どもたちは障害のある方への理解を深めることができました。

本校は、オリンピック・パラリンピック教育推進校（よいい、どん！スクール）でもあります。この他にも一月の目白大学の留学生との交流会や、三月の茶道体験を実施し、国際感覚の醸成を図ったり、日本の伝統・文化を学んだりする機会を設けたりして、これからもオリンピック・パラリンピック教育をより一層推進してまいります。

体育主任 井上 行真



学芸会

十一月九日（土）、学芸会が行われました。令和元年の学芸会のめあては「現実の世界をとびだして笑顔と感動をまきおこそう!!」です。子どもたちは役になりきるために十月半ばから脚本を読み、イメージを膨らませ練習を積み重ねてきました。本番当日は、一人ひとりが創意溢れた役を演じていました。



5年生 エルコスの祈り



3年生 寿限無



1年生 11ぴきのねこ



6年生 カモメに飛ぶことを教えた猫



4年生 人間になりたがったねこ



2年生 アラジン



小金井公園



平和の森公園
フィールドアスレチック



チームラボプラネッツ



上千葉砂原公園

十一月十四日（木）に全校遠足がありました。本校の遠足は子ども達が候補地を選び、全校児童の投票によって行き先が決まる、たてわり班遠足です。総選挙は九月の学校公開日に行われました。六年生が六か所の候補地をプレゼンテーションしたあと、投票結果上位四か所のどこに行きたい決めました。この総選挙は三年目となりましたが、年々盛り上がりを見えています。子ども達のとても楽しみな行事のひとつとなりました。

本年度の行き先は、チームラボプラネッツ（お台場）、上千葉砂原公園、小金井公園、平和の森公園フィールドアスレチックでした。雨で二回延期になり、若干遅めの実施となりましたが、最高のお天気に恵まれました。

「自分たちで決めていく学校行事」があることで、子ども達の意欲や自主性が高まり、たてわり班の一六年生のつながりも強くなってきました。

この新しい取り組みは、落六小の子ども達にとって学校自慢のひとつとなっているようです。

みらい科主任 新保 有希子

総選挙で行き先を決める遠足



六年生の思い出

耳に残る We will rock you の前奏。鼻の奥に残る東照宮の雨の匂い。右手に残る大喜利の〇×プザールの感触。喉の奥に残る音楽会作戦会議の呼名。指先に残る「カルメン」のリズム。そして、目の奥に残るのは、くだらない話で笑い合った教室と二十二人みんなの笑顔。私の身体の各所に残る六年一組の思い出は、これから先、私の人生の中で何度も呼び覚まされるのでしょう。同じ音楽を聴いた時や、同じ雨が降った時。そして、輝く未来に向かって旅立つ彼らを見送る三月二十五日の卒業式の退場の時。私には何が、どんなことが残るのでしょうか。

振り返ると彼らから教わることもたくさんありました。学びに向かう姿勢と終着点を自分で決めたいゆまね探求心。優しさをもって人と接することの大切さ。

「六年生ってこんなに大人だったのか」
「六年生ってこんなに子どもらしいのか」
「この子たちはこんな事ができるのか」
「〇〇さんはこんなことを考えているのか」
「〇〇さんって〜」
「〇〇さんって〜」

時間が経過するたびに、「六年生」という代名詞に色がつき、イメージが刻まれ、私の中でようやく完成しようとしている頃に、彼らは旅立ちます。

彼らはどこに行っても好かれるし、かわいがられるでしょう。彼ら自身、置かれた環境の中で楽しみ、悩み、自分なりの答えを出していくことでしょう。

少し早いけど、卒業おめでとう。君たちに出会えて、嬉しかったよ。

六年一組担任 横川 浩之



令和元年最後の日、お楽しみ会終わりの記念撮影



音楽会が終わって、教室で記念写真を一枚



全校遠足、全力のリーダーシップにみんなくたくた



校外学習

一年生は、二十の班に分かれて、一月二十三日（木）に校外学習に行ってきました。今回の校外学習のストーリーは、「ONE TEAM」みんなが学ぼうクールジャパン。このスローガンには、班の全員で結束して校外学習を成功させよう、そして、今年東京でオリンピック・パラリンピックが開催されることを踏まえて世界で親しまれている日本の文化について学ぼう、という実行委員の思いが込められています。

今回訪れたのは、浅草・上野・両国・深川・大門エリアです。六月の女神湖移動教室と大きく異なるのが、行動計画を自分たちで作成することで、どの施設にどのくらいの時間滞在するか、どこで昼食をとるかなど、全て班員の話し合いによって決定し



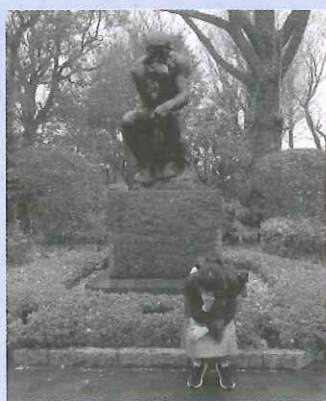
浅草



増上寺



江戸東京博物館



国立西洋美術館

ました。そして、副班長を中心に試行錯誤を重ねながら、行動計画表を完成させました。

当日は朝から雨が降るあいにくの天気となりましたが、伝統的な寺社を訪ねたり、博物館や美術館で普段の生活では見られないような展示物を目にしたりすることで、新たな発見をすることができました。そして、行く先々にある建造物や何気ない風景から、様々な「クールジャパン」を探することもできたようです。

この学習では計画を立てることや、その計画に沿って行動することの難しさを感じることもでき、実りの多い学習をすることができました。

一学年校外学習担当 横田 美里

サロンサッカー大会

12月8日(日)、サロンサッカー大会が落合第二中学校で開催されました。

★大会結果★

【低学年の部】

- 1位 KAT-TUM(落五小)
- 2位 ochisanファイアー(落三小)

【中学年の部】

- 1位 やまんばんまんばんまんばん令和FC(落六小)
- 2位 4ー1(落五小)

【高学年の部】

- 1位 日本の栄養ロナウド3世(落三小)
- 2位 エルリックコスモス(落六小)



コミスポ中央大会 結果報告

12月8日(日)にコズミックスポーツセンターでコミニティスポーツ中央大会が開催され、各地区を代表した選手が熱戦を繰り広げました。

ビーチボールバレーでは「落六ビスケット」が優勝、輪投げ60歳以上の部では、「西落合クラブ」が優勝しました。ユニカールでは、「B02」が第3位に入賞しました。おめでとうございます。



地域センターにサンタとトナカイがやってきた!

12月21日(土)、多目的ホールで落合第二地区青少年育成委員会が「こどものクリスマスお楽しみ会」を開催しました。



落合親和町会 「新春ポッチャ大会」

1月18日(土)、多目的ホールで総勢39名が参加、リーグ戦が白熱しました。



ご卒業おめでとうございます

令和元年度学校別卒業予定者数(2月1日現在)

学校名	人数
落合第一小	65
落合第二小	54
落合第三小	63
落合第四小	79
落合第五小	22
落合第六小	24
落合中	77
落合第二中	94
新宿西戸山中	158

落合さくらまつりの中止について

3月28日(土)・29日(日)に西落合公園にて予定されていた落合さくらまつりは、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、中止となりました。

「コミュニティ誌」おちあい」は全て再生紙を使用しています。